

■採択年度（タイプ・申請区分）※該当の口を■にしてください。／大学名

【ASEAN 対象】☐H23（A－Ⅱ）☐H24（Ⅰ）☒H24（Ⅱ）【AIMS】☐H25／名古屋大学

■プログラム名

ASEAN 地域発展のための次世代国際協カリーダー養成プログラム

――以下、シンガポールに特化した内容を主にご記載ください。――

■相手大学・機関（国名も記載ください）

シンガポール国立大学ビジネススクール

■主な活動内容（概要）

上記大学と平成 25 年度から、短期受入れ（1 週間、単位付与なし）と派遣（1 週間、単位付与）プログラムを実施している。受入れでは、中部地域のものづくりの拠点でインターンシップを実施したり、派遣では、シンガポールでのビジネスの特徴、日系企業の活動について理解を深めるため、大学での講義に加え、企業訪問を多く実施している。平成 26 年度から、長期受入れと派遣を実施予定である。

■プログラムの現状・課題、成功事例

（単位互換、危機管理、寮・奨学金、その他プログラムをつくる上での障害等について、できるだけ具体的に記載ください）

現状・課題

短期プログラムでは、相手大学からの希望で単位付与を伴わないプログラムであったため、奨学金申請ができなかった。

成功事例

相手大学と話しあう機会を多く設けたことで、相手大学のニーズに合わせたプログラム内容を提供することができた。インターンシップに参加する前に、現地の日系企業で研修の機会を設けて事前学習を徹底し、現場の人々から直接学べる機会を多くした。これを受け、相手大学も同様のプログラム内容をアレンジし、双方学生が同じ質のプログラムを受けることができた。